

いい歯の日(11月8日)に寄せて

～いつまでも自分の歯で食べるために～

八重山保健所 西 里 八重子

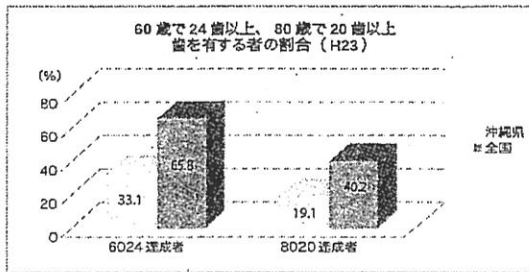
★8020達成者は過去最高!

ひと昔前、歯は年齢とともに抜けていくのは仕方ないと思われていた時代がありました。21世紀を迎えた現代では、8020(はちまるにいます)運動が普及し、80歳で20本以上の歯が残っている方は、厚生労働省の発表では過去最高の40.2%であることがわかりました(平成23年歯科疾患実態調査より)。



★沖縄県の「歯の健康」は全国より悪い状態

全国的には歯の健康は改善されてきているといえますが、沖縄県は15歳から55歳の歯周病の割合が全国より高めです。60歳で24本以上の歯がある人は33%で、80歳で20本以上歯がある人は20%にも達していません(平成23年度県民健康・栄養調査)

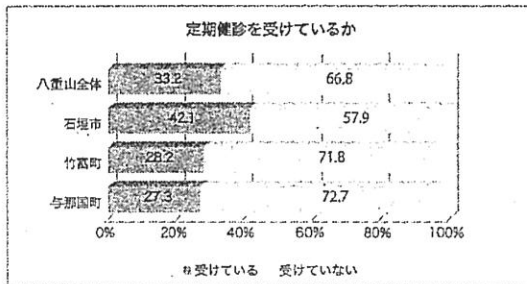


★成人歯科相談から見てきたこと

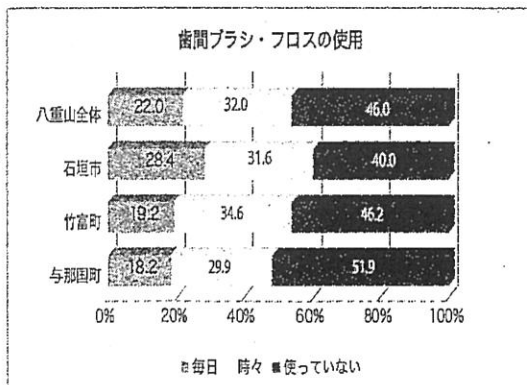
八重山保健所では平成26年度から石垣市、竹富町、与那国町の住民健診(特定健診)の一部の会場で歯科衛生士による「成人歯科相談」を実施しています。質問票にご記入いただき、そのお答えから問題点を見つけ、適切なアドバイスをさせていただくという方法です。今年の実施結果からい

ろんなことが見えてきました。

- 3市町で合計255名の方が相談に来られましたが、そのうち全く問題がなかった方はわずか13名(5%)でした。
- かかりつけ歯科医があると答えた人は165名(66%)でしたが、実際に定期的な歯科健診やクリーニングを受けている人は半数の83名(33%)でした。歯医者さんは痛みが出てからしか行かない人が多いのではないかと思います。(ちなみに、痛くなってから駆け込む歯医者さんは「かかりつけ歯科医」ではなく「行きつけの歯医者さん」です)



- 歯間ブラシやデンタルフロスを毎日使用している人は55名(22%)、時々使用している人は80名(32%)、使用していない人は114名(46%)でした。



- 「自覚症状(お口の中で困っていること)はない」と答えた109名であったが、実は治療や精密検査が必要な人は40名で36.7%と非常に高率となっています。それは、約3人に1人強が自覚症状を見逃していることとなります。

このように、「かかりつけ歯科医」や「定期健診・メンテナンス」は、まだまだ定着していないことや歯間ブラシ、デンタルフロスを毎日使う人も少ないことがわかりました。

むし歯や歯周疾患が重症化し、ひどい状態になってから歯医者さんに駆け込むと、どうしても痛みを伴う処置が多くなります。歯医者さん嫌いな人にこういったパターンが多いのではないのでしょうか。

次年度も、石垣市、竹富町、与那国町で実施される住民健診(特定健診)の会場で成人歯科相談を実施する予定です。いつまでも自分の歯で食べるために、健診会場で歯科相談コーナーを見かけたときは、ぜひお立ち寄りください。いつまでも自分の歯で食べるために!!

八重山毎日
平成27年11月12日(木)